



テクニカル・メッセージ

プロペラシャフト給脂不良による路上事故の防止

プロペラシャフトの定期的な給脂が行われなかった場合、走行不能等の重大な故障が発生するおそれがあります。安全に運行していただくため、必ず弊社推奨時期に弊社指定の全ての箇所に確実な給脂を実施いただけますようお願いいたします。

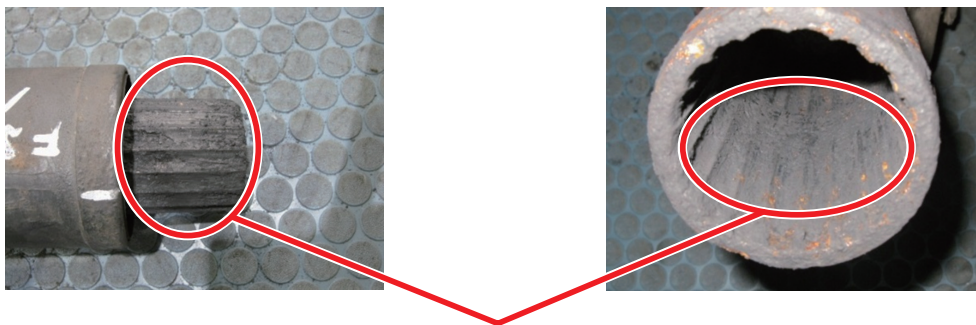
■ 対象車両

トラック・バス 全車

■ 給脂不足による走行不能に至った不具合事例（大型トラック軸間プロペラシャフト）

<スプライン部の異常摩耗>

走行距離 16 万 km 給脂メンテナンス不足の車両



異常摩耗

■ 給脂のメンテナンス時期一覧

下記メンテナンス時期を参照に、車両に合った時期で定期的な給脂を行ってください。

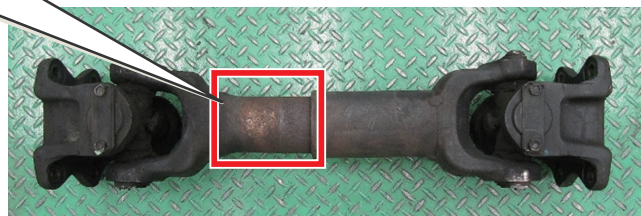
車型	ユニバーサルジョイント部 スライディングヨーク部	センターベアリング部
小型トラック (Z EV除く)	4,000kmまたは1か月ごと	4,000kmまたは1か月ごと
中型トラック	4,000kmごと	4,000kmごと
大型トラック・トラクタ	5,000kmごと	5,000kmごと
小型バス (ポンチョ)	4,000kmごと	搭載なし
中型バス (レインボーⅡ)	5,000kmまたは1か月ごと	搭載なし
中型バス (上記車種以外)	4,000kmごと	4,000kmごと
大型観光バス	5,000kmごと	搭載なし
大型路線バス	5,000kmまたは1か月ごと	搭載なし

■ プロペラシャフト（スプラインヨーク部）給脂時の確認事項について

スプラインヨーク部の給脂を行う際は、同時に摺動面に錆が出ていないことを確認してください。

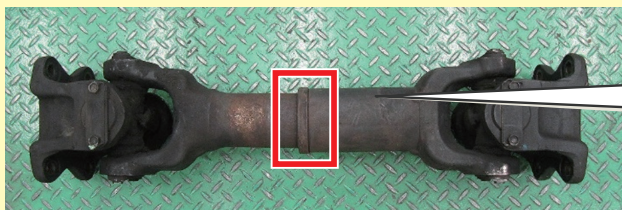


スプラインヨーク部摺動面の錆付き

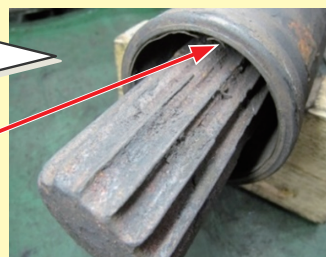


注意

- ・融雪剤が使用されている寒冷地での使用、下回り洗浄を頻繁に実施している車両は錆が発生しやすいので、重点的に確認をお願いします。
- ・スライディング摺動部に錆付きが確認出来た場合はプロペラシャフトを取り外して、スプラインおよびオイルシール部に損傷が無いか、またグリースが劣化していないかも確認してください。



オイルシールの損傷



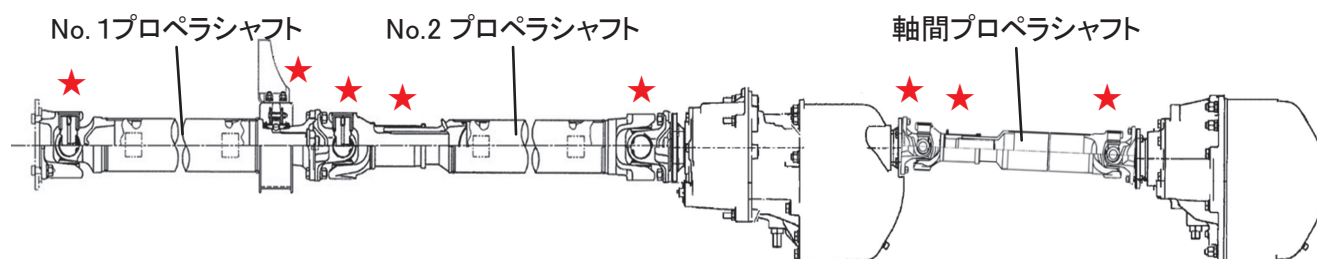
■ 給脂箇所および給脂油種について

- ・ユニバーサルジョイント、スライディングヨークに取り付いているグリースニップル全てに給脂してください。
- ・給脂油種はリチウム系ベアリンググリースを使用して、**シャシグリース等油種が異なるものは使用しないでください。**

推奨銘柄：日野純正ブルーリボンベアリンググリース

《給脂箇所の事例：大型トラック》

★：給脂部位



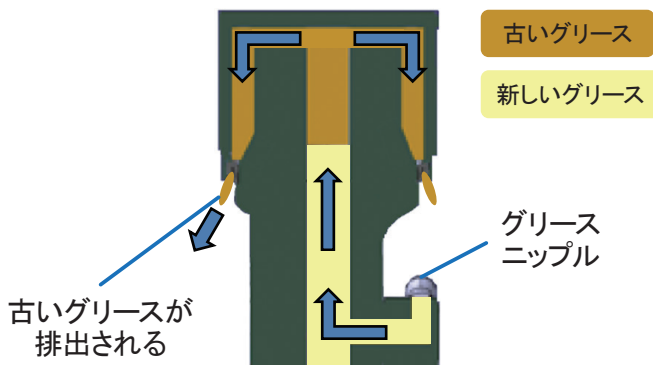
※詳細は取扱説明書をご参照ください

■ 給脂時のポイントについて

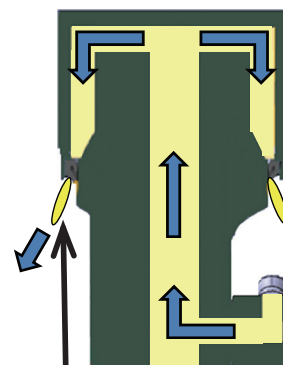
- ・ 給脂はグリースニップルおよび塗布部位の泥やほこりを取ってから行ってください。
- ・ 給脂は古いグリースが全て排出され、新しいグリースが排出されるまで行ってください。
- ・ 給脂後、あふれたグリースは必ず拭き取ってください。

<グリースの定期給脂時の状況イメージと給脂のポイント（ジョイント部の例）>

【給脂開始～給脂中】

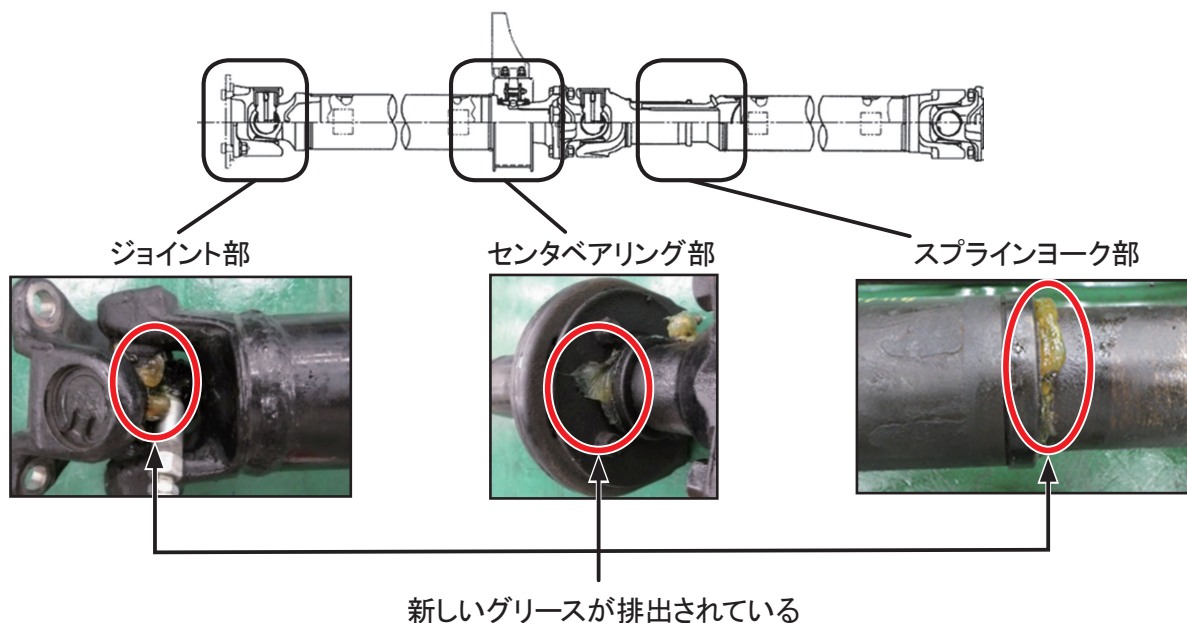


【給脂終了】



新しいグリースが排出されるまで給脂してください

<正しい給脂直後の給脂部位の例>



注意

- ・ グリースニップルに緩みが無いか確認してください。
- ・ 古いグリースの排出が確認出来ない場合は、内部で詰まりが発生している可能性がありますので詰まりの有無を確認の上、プロペラシャフトの分解点検をお願いします。
- ・ グリースニップル部が脱落していた場合、ニップル穴からグリースが流れ出ていく可能性がありますので、適切に装着されていることを確認してください。